

刊行にあたって

本市には、東京湾に唯一残った自然干潟である盤洲干潟をはじめ、上総丘陵の緑豊かな森林など、多くの恵みを受けてきた自然があります。

このような恵まれた自然環境は、私たちの先代から守られ、脈々と受け継がれてきたもので、次の世代に責任を持って引き継がなければならない大切な財産であると考えています。

本市では、環境施策の指針となる「第2次木更津市環境基本計画」の中間期として、「未来につなぐ環境にやさしいまち木更津」を望ましい環境像とした取り組みの点検・評価を継続的に行いながら、環境保全施策を一層推進しております。

また、地球温暖化によるものと思われる世界的な自然災害が相次ぎ、自治体や企業における地球温暖化対策への緊急性が高まる中、本市では、平成31年4月に「世界首長誓約／日本」を県内初の自治体として署名し、国の目標を上回る温室効果ガスの削減を目指すとともに、令和2年3月に策定した「木更津市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」（通称：きさらづストップ温暖化プラン）に基づき、再生可能エネルギーの地産地消などの本市独自の取り組みや市民や市内事業者、市の各主体が共に取り組む重点施策の推進により、持続可能で強靱な地域づくりを目指し、計画的に良好な環境の保全と創出を図ってまいります。

今後も、地域一体となり、人と自然が調和した持続可能なまちづくりを進めたいと考えておりますので、ご理解、ご協力のほど、よろしく願いいたします。

このたび、本市が実施した施策や調査した結果などをまとめた「きさらづの環境」を作成いたしました。

本書をご一読いただき、本市の環境問題に対するご理解を深めていただくとともに、豊かな自然環境を次世代に引き継ぐための取組の一助として、ご活用いただければ幸いです。

令和2年8月

木更津市長 渡辺 芳 邦

